

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



夏目地区～津島神社～



# 女性の地位向上に尽くした島津久子女史



社会福祉法人 信 和 会

会長 栗 原 信 雄

島津久子女史は、明治30年 男尊女卑の時代石和町の素封家に生まれ、古風で厳格な父母に育てられ、長じて甲府高女に進学されました。

21歳の春、穴山町の旧家島津家に嫁ぎ、主人の医業を扶けながら三人の男子、長男・壽秀氏（甲州リハビリテーション病院設立者）次男・庄二氏（元山梨県議会議員）三男・照明氏（株）カツロン社長）を養育する傍ら、地域の農業振興、婦人の地位向上の為に並々ならぬ努力を傾けました。

昭和53年4月17日81歳（没）の生涯は敗戦後の悲惨な社会に敢然と立ち向かい全身全霊で社会活動に捧げた偉大な指導者でありました。

戦前・戦中の愛国婦人会と称する団体は、本来の使命を、国を愛し・国軍に奉仕するという目的で日露戦争の機運に乗って結成された国主導の団体でありました。山梨県でも、山梨県愛国婦人会連合会設立を目指していましたが、当時の男尊女卑の風潮では、会長は男性を据えることが原則であり、女性の活動は有名無実となっておりました。久子氏は昭和5年に入会しました、未だ若かった女史は生来の性格から会の活動はもっと実質的なものでなければならぬと考えておりました。折りに触れて理事達を説得して、一応の目算の立ったところで、会議の中で動議として提案し、女性の会長が初めて認められました。その後の婦人会は女性による会長・副会長を選出するという大改革を成し遂げたのです。

当時、事務所は日赤会館の一部を間借りしていましたが、次は婦人会の事務所を持ちたいという願望が出てきました。理事・評議委員の努力で、偶然売りに出していた地方新聞社の土地（220坪）と建物を見つけ、これの資金捻出を女史は一手に引き受け購入に成功しました。

ついに自前の事務所をようやく確保し、そこには 会長室・応接室・事務室・会議室・遠隔地から来てくれる会員のために宿泊室も整えました。そこで、県下の市町村役場に対して、婦人会館完成を誇らかに発表しました。

時は満州事変・支那事変となり、政府から国防婦人会が半ば強制的に設立されましたが、やがて戦後となり昭和21年4月には、北巨摩連合婦人会結成に尽くし、初代会長に推され、その活躍振りは県下の婦人から敬慕されました。

昭和20年の暮れに婦人に婦人参政権が与えられ昭和22年5月、新しい憲法が施行され、文字通り男女同権となりました。

戦後の女性の動きには目を見張るほど慌ただしいものがありました。戦後初めての昭和21年4月の衆議院議員選挙にあつては、日本全国どここの選挙区でも目白押しに婦人が立候補して、日本全国で39名の婦人代議士が誕生しました。

山梨県でも、5名の定員の選挙区に3名の女性の立候補で異常な雰囲気醸成を醸成しました。その頃、山梨県婦人連合会の結成の機運が出てきていましたが、米軍政部の許可が取れず、再三に亘って米軍政部の説得を重ねて来ましたが、婦人会結成の産みの苦しみは筆舌に表し難いものでした。

昭和26年8月山梨県連合婦人会が結成され初代の会長に推され、その活躍振りは多岐にわたり、昭和38年山梨県功労者として表彰され、昭和53年勲6等宝冠章に叙せられました。

島津久子女史の残した女性の地位向上の精神は、今でも穴山町内の婦人活動の中に脈々と息づいております。



# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 新年明けましておめでとうございます

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。  
昨年2013年はアベノミクスによる経済効果や東京オリンピック・パラリンピック開催決定などで、長らく停滞していた日本経済によりやく明るい兆しが広がり始め、久々に日本に活気を感じることができた一年でした。

今年の干支は「甲午（きのえうま）」

「きのえ」とは、冬が明けて春になり草木の芽が土の中から頭を出して、伸びていくという様子を指すそうです。そこに「うま」という風の如く駆ける動物が合わさる年がきのえうまです。私たちが今年の干支にあやかり、駿馬（しゅんめ）が大地を駆け抜けるが如く、目標へと邁進し新芽（しんめ）が土から天へと伸びるが如く新たなステージへと突き抜けていきましょう。

本年もよろしくお願ひいたします。

理事長 栗原 信

## 理事会・評議委員会報告

- 開催日 : 平成25年12月3日(土)  
開催場所 : サドヤ シャトー・ド・プロヴァンス
- 審議事項 : 第1号議案 穴山の杜 屋上防水補修工事について  
第2号議案 入札について  
第3号議案 その他



平成25年度 第3回目の理事・評議員会で上記の議案が審議され、すべての項目について承認を得られたことをご報告いたします。

第2号議案の入札に関しては、過日承認を頂いた①グループホームのスプリンクラー設置、②穴山の杜太陽光発電設備設置工事の2件について経過報告を致しました。また、その他において前号でお知らせ致しました、わ〜く穴山の里の送迎用車両購入において日本財団車両補助事業の承認を受け補助金支給が決定いたしました。併せて、各事業に伴う予算補正計画を実施することも承認されました。

年が変わり今年度も残すところ3ヶ月。次年度事業計画、予算案などを策定する期間となり新たな事業展開も視野に入れ活動して参ります。

## スプリンクラー工事終了

日本各地で発生した社会福祉施設での火災死亡事故を受け、信和会で運営しているグループホームも今回スプリンクラーの設置を行いました。

本来、消防法による規定面積を下回っている建物は設置義務はありませんが、利用者の安心安全を確保する為、山梨県の基盤整備事業補助金を受けながら工事に着手いたしました。居室をはじめ食堂、廊下などをカバーし、更に電光式誘導灯も設置しました。日頃の運営で火の取り扱いには十分注意をして生活していますが、今回スプリンクラーを設置したことにより建物全体の安全性は更に増すこととなりました。

寒さが増し、乾燥するこの季節、一人一人が火災予防につとめ生活していきます。



# 穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
TEL0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



## 福祉職員職務階層別研修に参加して

平成25年11月27日(水)と28日(木)の2日間にわたり東京都文京区の都社会福祉人材センターにおいて、都社会福祉協議会主催の指導的職員研修に参加させていただきました。

研修内容は、福祉の指導的職員に期待されるリーダーとしての役割の理解と習得、職場のリーダーとして福祉サービスの維持、向上にむけての職場内の仕組み作り、その仕組みを機能させるための応用的実践を行うための視点や、方法の習得を目的として、個人ワーク・グループワークの演習を通して自分で考え、グループ討議しながら学ぶ研修でした。

東京をはじめ関東近県から114名の参加者があり、研修オリエンテーションの後、「福祉をとりまく最近の動向と指導的職員への期待」と題して都福祉人材センターの研修室長から基調講義があり、その後、3教室に分かれて2日間の研修を共にする6名のグループ内で自己紹介をしながら、仲間意識(チームワーク)作りについての研修から始まりました。基本的な進め方は、まず個人で課題に取り組み、次にグループ内で個々の意見を発表する。その後グループで討議してグループの総意としてまとめたものを教室内の他のグループ全員に発表する。全グループから出た意見について担当講師が、模範的解答を講義する。という形式で進められました。

演習をとおして、職場内で気軽に会話ができる雰囲気作りから、職場での問題解決方法、リーダーシップの取り方、職場内研修をとおしての職員育成など、指導的職員のあるべき姿を明確に知ることが出来、その理想像に近づくため各種の方法論を理解することが出来ました。

研修終了後、学んだ知識を穴山の里のリーダー職員に伝えるべく職場内研修を速やかに実施して、リーダー職員個々がより良い組織を作り上げるように共に協力して行こうと確認できた次第です。



大柴太賀吉

## ~キッズランド~



10月24日、ふれあい班ではキッズランドに行きました。

キッズランドってどんなところ?トランポリン・カラオケ・リラックスコーナー・アスレチックと様々な遊具がある室内の遊技場でした。

はじめての所で戸惑いもしましたが、利用者さんの無邪気に遊ぶ様子や最高の笑顔に職員も癒された一日でした。



松本 佐州本



10月28日に農業班で松本に行ってきました。

国宝松本城の見学後、美味しいお蕎麦を食べたりお土産を買ったり胃?も心も楽しんできました。

松本を歩

松本ウォーキングガイド



松本農業班ウォーキングガイド



# Merry Christmas



12月17日 穴山町ふれあいホールにてクリスマス会を行いました。

ホールの屋根にはサンタクロースとそりが飾り付けられていてクリスマス気分満載の中、シュガーフレンズの演奏や、歌クラブの発表、職員の出し物を楽しみ、昼食はパーティー形式でお寿司・チキン・サンドウィッチなどの豪華な食事会となりました。

今回のクリスマス会では地域の方と一緒に合唱をしたり、穴山保育園の皆さんが見学に来てくれるなど地域の方々とも一緒に楽しめたクリスマス会でした。

## システム研修

平成22年4月に業務統合パソコンシステムを導入してから3年以上が経過しました。職員へのフォローアップとともに、導入教育の未研修の職員への対応として外部講師を招いてパソコン教室を開催しました。

忙しい支援の時間を割いて、全職員が半日ずつパソコンに向き合い、講義を聞きながらシステムの操作を学習することが出来ました。

新たなる活用方法を学びましたので、より良い支援活動に役立ててゆきたいと思えます。



# わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



新年明けましておめでとうございます

今年は、わ〜く穴山の里が開所して10年目に当たる節目を迎えます。これまで10年間活動してきたことを生かし、次の10年のステップアップに繋げるよう今後も、地域に根差した施設を目指して行きたいと思えます。

また、利用者、職員が現状に満足するのではなく、新しく一步を踏み出し、わ〜く穴山の里一丸となり邁進してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 「ひとり立ち料理教室」に参加



韮崎市社会福祉協議会主催の料理教室に参加して来ました。今回のメニューは「焼きカレーパンとたまごサンド」、「揚げサラダ」、「りんごのバターケーキ」等メニューも豊富でした。

普段、調理経験が少ない利用者も参加者同士がお互い助け合いながら作業を進めている姿がありとても印象的でした。

最後の振り返りでは「今度、お母さんに作ってあげたい！」など積極的に感想を話してくれる姿がありました。

普段の活動の中では気がつかなかった光景や興味を持ったことへの積極性など新たな発見があったことを実感致しました



# 穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
Tel.0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



新年あけましておめでとうございます

最近“地域包括ケアシステム”という言葉が出てまいります。この地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれており、そのため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のために、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域が支援サービス体制を構築するものです。このことは今の「高齢化、介護が必要になったら施設入所」のスタイルが大きく変化することを意味しています。すなわち施設から在宅介護への方針であります。これを実現するためには、住まい・医療・介護予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が重要になってきます。このシステムによって、家族の負担をなくすところまで地域全体で利用者を支えますというのが基本の考えです。この一翼を担う医療施設、福祉施設の果たす役割は極めて重要なものになってまいりますし、その任を果たすため穴山の杜は更なる施設の充実を図り、新しい時代を担う事業者を目指してまいります。



## 冬編トピックス

10月23日にめでたく白寿を迎えられた淀川様のお祝いをご家族、亀77の入居者・職員一同でお祝いさせて頂きました。他入居者より「おめでとうございます!」と祝辞、職員から花束と色紙を手渡されると、照れくさそうに何度も「ありがとう」と喜ばれていました。また、ご家族よりお礼の言葉を頂き、記念撮影を行いました。素敵な思い出になった事と思います。



## 白寿のお祝い会



小畑千年様の白寿のお祝いの会を開催しました。娘様にもご参加いただき、鶴77の入居者と職員で小畑様のこれまでのスナップ写真のDVDを見て、歌を歌って楽しい時間を過ごしました。他の利用者からのお祝いの言葉に感激され、「夢のようだわ、ありがとうございます!」と何度もおっしゃっていました。

## \* お楽しみ会 \*



10月11日、12月12日に、穴山保育園の皆様が慰問に来て下さいました。10月は運動会、12月はクリスマス会での出し物のお遊戯を披露して下さい、一生懸命な姿に入居者からも笑顔がこぼれていました!



11月19日、リベカ(深沢先生)の皆様が来設され、りんごの唄やドラえもんなどを披露して下さいました。三百六十五歩のマーチでは、入居者も一緒に手拍子をしながら、楽しみました!



11月5日に、初花会の皆様により、日本舞踊が披露されました。昔を思い出しながら、同じ様に踊られる入居者もいらっしゃいました!





# クリスマスランチ



25日はクリスマスという事で、昼食はみなさん大好きなにぎり寿司です。「マケロかわり!」と声のとび、楽しく食事をする事が出来ました。



# 餅つき

12月27日に、餅つきを行いました。利用者もお餅を搗く作業、返す作業に参加されました。経験者が多く、手慣れておりお手本を見せて下さいました。搗きたてのお餅を皆さんで召し上がり「美味しい!」と喜ばれていました。



## かどまつ

山田泰男様より、かどまつを頂きました。年明けを彩って下さいました。ありがとうございました。



## 2014年 初春のお慶びを申し上げます



亀1丁目の入居者から年賀状です。丹精込めて手作りして下さいました!



## 総合防災訓練の実施

穴山の杜では、昨年の7月に防災情報伝達訓練、11月に夜間防災訓練を行っておりますが今回は入居者の避難訓練も含めた総合防災訓練を実施いたしました。非常時は、日頃したことがないことは全くできないものです、又限られた職員で効率よく対処しなければなりません。そのためには常に情報の共有をしておく必要があります。入居者の大切な命をお預かりしている施設として安全、安心を念頭に訓練をしております。 訓練内容は次のような内容で実施いたしました。



地震発生 16時とし、事務室から東海沖地震発生の緊急放送

第1対処：自分自身をしっかり守る。周りの仲間に声かけし安否の確認。

対策本部の設置

第2対処：現場で起きている状況確認、緊急対処が必要なものは対応する。現場担当者は被害状況の把握し本部へ集合し被害状況、緊急対処の内容、応援要請等の報告。

本部指示：各現場からの報告に基づき・個々の対処の指示・応援体制の判断、指示。 入居者「避難」開始発動の判断と具体的な指示（ルート、順番、通路確保など）

## 感謝録

(平成25年9月16日から平成25年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

五十嵐稔・工藤晴正・島津文江・田中信子・  
中込幸雄・長田久則・曾雌由香理・林 紘子・  
小泉善男・岩下幸夫・富士産業(株)・山梨県中北農務  
事務所・佛光山本栖寺・山梨品川燃料(株)

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・  
長坂泰子・小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・田中  
康子 (絵画指導) 穴山の里保護者会 (内藤・相川・  
花形・佐伯・松田)・石澤一恵・穴山保育園・  
初花会 (鷹野・藤巻・大矢・仲田)・アンサンブル  
リベカ (深澤久子・石原香・鈴木由枝・宮川綾子・  
野村文子・牧嶋由利)

## 赤い羽根共同募金のご報告

今年度も赤い羽根共同募金へのご協力を頂きありがとうございました。

皆様からお預かりいたしました合計82,221円の  
善意を東京都共同募金会  
及び韮崎市共同募金会  
へ送金させて頂きました。



## 文化祭のご案内

穴山の里文化祭を開催いたします。皆  
様お揃いでお出かけ下さい。

平成26年3月9日 (日)

♪作品展示・お茶会9:00～12:00

会場：穴山の里

出品者：利用者 (穴山の里・GH・CH  
わ～く穴山の里)・職員・保護者

♪発表13:30～15:00

会場：穴山町ふれあいホール

\*穴山の里合唱 \*安来節 \*職員バンド

\*太鼓 \*日本舞踊

お問合せ先：0551-25-5900  
穴山の里 担当 小池

## 訪問録

(平成25年9月16日から平成25年12月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎帝京学園短期大学

塚原このみ・中島博文

◎鶴川女子短期大学

井原里奈

◎優和福祉専門学校

望月かおる・鈴木弘子・神宮寺美紀・野中佐知子

椎名恵子・小林恵子・名取 優・小牧広平

雨宮真紀

◎北杜高等学校

手塚 翼

☆体験実習 (敬称略)

◎かえで支援学校

原田真和・武内信太郎

◎わかば支援学校高等部

平田和輝

☆施設研修 (敬称略)

◎めぐみ荘 認知症実践リーダー研修

斉藤真一

◎富士聖ヨハネ学園

中村美子・上嶋みさお

☆施設見学 (敬称略)

◎福)花輪福祉会 鹿角苑

兎澤修一・成田喜輝

## ☆☆☆ご報告☆☆☆

日本財団より福祉車両助成金事業決定通知を頂きました。

ホンダステップワゴンを発注いたしました。送迎車として、活用し、利用者送迎に使わせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

## 編集後記

「一年の計は元旦にあり」  
常におもてなしの心使いが  
出来たらと目標を立て元旦  
より、着物を着てご挨拶を  
してみました。翌日より  
筋肉痛に悩まされました。  
『おもてなし』奥深さを実  
感いたしました。  
白鳥のごとく水の上では  
優雅に、そして水面下では  
一生懸命足を動かす一年に  
したいです。  
本年も法人共々よろしく  
お願いいたします。